

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公開番号】特開2008-140153(P2008-140153A)

【公開日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2006-325848(P2006-325848)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 5 2 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月8日(2011.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置と、前記複数のログデータ収集装置にネットワークを介して接続され、前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデータ管理装置とを備えるログデータ管理システムであって、

前記ログデータ収集装置は、

少なくともテキストデータを含むログデータを記憶する第1のログデータ記憶手段と、

前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信間隔を変更する送信間隔変更手段と、

前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶手段で記憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信手段と
を備え、

前記ログデータ管理装置は、

前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信手段と、

前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定手段と、

前記キーワード判定手段での判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送信間隔決定手段と、

前記決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信手段と

を備えることを特徴とするログデータ管理システム。

【請求項2】

前記ログデータ収集装置は、

前記第1のログデータ記憶手段に記憶されている未送信のログデータに関する滞留情報を前記ログデータ管理装置に送信する滞留情報送信手段と、

前記送信間隔制御情報を前記ログデータ管理装置から受信する送信間隔制御情報受信手段と

を更に備え、

前記ログデータ管理装置は、
前記滞留情報を受信する滞留情報受信手段
を更に備え、

前記送信間隔決定手段は、前記滞留情報受信手段で受信した滞留情報と、前記キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定することを特徴とするログデータ管理システム。

【請求項3】

前記ログデータは、イメージデータを含み、
前記ログデータ収集装置の前記ログデータ送信手段は、前記第1のログデータ記憶手段で記憶したログデータを送信する際に、前記ログデータ記憶手段に記憶されているイメージデータの送信に先だって、前記第1のログデータ記憶手段に記憶されているテキストデータを前記ログデータ管理装置に送信し、

前記ログデータ管理装置のログデータ受信手段は、前記イメージデータの受信に先だって、前記テキストデータを前記ログデータ収集装置から受信することを特徴とする請求項1又は2に記載のログデータ管理システム。

【請求項4】

前記ログデータ収集装置の前記ログデータ送信手段は、前記第1のログデータ記憶手段に記憶されているテキストデータの送信後に、前記イメージデータを前記ログデータ管理装置に送信し、

前記ログデータ管理装置のログデータ受信手段は、前記テキストデータの受信後に、前記イメージデータを前記ログデータ収集装置から受信し、

前記ログデータ管理装置は、
前記受信した前記テキストデータと前記イメージデータを対応付けて記憶する第2のログデータ記憶手段
を更に備えることを特徴とする請求項3に記載のログデータ管理システム。

【請求項5】

前記ログデータ管理装置は、
前記キーワード判定手段で前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれていると判定される場合、当該テキストデータに対応するイメージデータの送信要求を前記ログデータ収集装置に送信する送信要求手段
を更に備え、

前記ログデータ収集装置は、
前記イメージデータの送信要求を受信する送信要求受信手段
を更に備え、

前記ログデータ収集装置のログデータ送信手段は、前記送信要求受信手段による送信要求に従って、前記テキストデータに対応するイメージデータを送信することを特徴とする請求項3又は4に記載のログデータ管理システム。

【請求項6】

前記キーワードが含まれるログデータの数に関する値は、所定期間内にキーワードがヒットしたログデータの数に関する値であることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のログデータ管理システム。

【請求項7】

ログデータ収集装置からログデータを受信し、受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定し、判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、送信間隔を決定し、決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報を前記複数のログデータ収集装置に送信するログデータ管理装置とネットワークを介して接続されるログデータ収集装置であって、

少なくともテキストデータを含むログデータを記憶する第1のログデータ記憶手段と、

前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信間隔を変更する送信間隔変更手段と、

前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶手段で記憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信手段と
を備えることを特徴とするログデータ収集装置。

【請求項8】

印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置とネットワークを介して接続される前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデータ管理装置であって、

前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信手段と、
前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定手段と、

前記キーワード判定手段での判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送信間隔決定手段と、

前記ログデータ収集装置に記憶されているログデータの送信間隔を変更するべく、前記送信間隔決定手段で決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信手段と
を備えることを特徴とするログデータ管理装置。

【請求項9】

印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置と、前記複数のログデータ収集装置にネットワークを介して接続され、前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデータ管理装置とを備えるログデータ管理システムのデータ管理方法であって、

前記ログデータ収集装置が、
少なくともテキストデータを含むログデータを記憶部に記憶する第1のログデータ記憶ステップと、

前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信間隔を変更する送信間隔変更ステップと、

前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶ステップで記憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信ステップと
を実行し、

前記ログデータ管理装置が、
前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信ステップと、
前記ログデータ受信ステップで受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定ステップと

、
前記キーワード判定ステップでの判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送信間隔決定ステップと、

前記決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信ステップと
を実行することを特徴とするデータ管理方法。

【請求項10】

ログデータ収集装置からログデータを受信し、受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定し、判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、送信間隔を決定し、決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報を前記複数のログデータ収集装置に送信するログデータ管理装置とネットワークを介して接続されるログデータ収集装置のデータ管理方法であって、

前記ログデータ収集装置が、
少なくともテキストデータを含むログデータを記憶部に記憶する第1のログデータ記憶
ステップと、

前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信
間隔を変更する送信間隔変更ステップと、

前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶ステップで記
憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信ステップと
を実行することを特徴とするデータ管理方法。

【請求項11】

印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置とネットワークを介して接続さ
れる前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデ
ータ管理装置のデータ管理方法であって、

前記ログデータ管理装置が、

前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信ステップと、

前記ログデータ受信ステップで受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予
め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定ステップと

前記キーワード判定ステップでの判定結果に従って決定される、キーワードが含まれる
ログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定す
る送信間隔決定ステップと、

前記ログデータ収集装置に記憶されているログデータの送信間隔を変更するべく、前記
送信間隔決定ステップで決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログ
データ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信ステップと
を実行することを特徴とするデータ管理方法。

【請求項12】

印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置と、前記複数のログデータ収集
装置にネットワークを介して接続され、前記複数のログデータ収集装置から送信される印
刷のログデータを管理するログデータ管理装置とを備えるログデータ管理システムのプロ
グラムであって、

前記ログデータ収集装置を、

少なくともテキストデータを含むログデータを記憶する第1のログデータ記憶手段と、

前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信
間隔を変更する送信間隔変更手段と、

前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶手段で記憶し
たログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信手段と
して機能させ、

前記ログデータ管理装置を、

前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信手段と、

前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登
録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定手段と、

前記キーワード判定手段での判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログ
データの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送
信間隔決定手段と、

前記決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に
送信する送信間隔制御情報送信手段と
して機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項13】

ログデータ収集装置からログデータを受信し、受信したログデータに含まれるテキスト
データ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定し、判定結果に
従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、送信間隔

を決定し、決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報を前記複数のログデータ収集装置に送信するログデータ管理装置とネットワークを介して接続されるログデータ収集装置のプログラムであって、

前記ログデータ収集装置を

少なくともテキストデータを含むログデータを記憶する第1のログデータ記憶手段と、

前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信

間隔を変更する送信間隔変更手段と、

前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶手段で記憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信手段と

して機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項14】

印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置とネットワークを介して接続される前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデータ管理装置のプログラムであって、

前記ログデータ管理装置を

前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信手段と、

前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定手段と、

前記キーワード判定手段での判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送信間隔決定手段と、

前記ログデータ収集装置に記憶されているログデータの送信間隔を変更するべく、前記送信間隔決定手段で決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信手段と

して機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ログデータ管理システム、ログデータ管理装置、ログデータ収集装置と、そのデータ管理方法及びプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の目的は、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、各ログデータ収集装置に記憶するログデータの送信間隔を変更することで、情報漏洩の危険性を低減することが可能なログデータ管理システム及びそのログデータ管理装置のデータ管理方法を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するため、請求項1のログデータ管理システムは、印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置と、前記複数のログデータ収集装置にネットワークを

介して接続され、前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデータ管理装置とを備えるログデータ管理システムであって、前記ログデータ収集装置は、少なくともテキストデータを含むログデータを記憶する第1のログデータ記憶手段と、前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信間隔を変更する送信間隔変更手段と、前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶手段で記憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信手段とを備え、前記ログデータ管理装置は、前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信手段と、前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定手段と、前記キーワード判定手段での判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送信間隔決定手段と、前記決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記目的を達成するため、請求項7のログデータ収集装置は、ログデータ収集装置からログデータを受信し、受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定し、判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、送信間隔を決定し、決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報を前記複数のログデータ収集装置に送信するログデータ管理装置とネットワークを介して接続されるログデータ収集装置であって、少なくともテキストデータを含むログデータを記憶する第1のログデータ記憶手段と、前記ログデータ管理装置から受信した送信間隔制御情報に基づき前記ログデータの送信間隔を変更する送信間隔変更手段と、前記ログデータを送信する送信間隔に従って、前記第1のログデータ記憶手段で記憶したログデータを前記ログデータ管理装置に送信するログデータ送信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記目的を達成するため、請求項8のログデータ管理装置は、印刷のログデータを収集する複数のログデータ収集装置とネットワークを介して接続される前記複数のログデータ収集装置から送信される印刷のログデータを管理するログデータ管理装置であって、前記複数のログデータ収集装置からログデータを受信するログデータ受信手段と、前記ログデータ受信手段で受信したログデータに含まれるテキストデータ中に、予め登録されているキーワードが含まれているか否かを判定するキーワード判定手段と、前記キーワード判定手段での判定結果に従って決定される、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、それぞれのログデータ収集装置の送信間隔を決定する送信間隔決定手段と、前記ログデータ収集装置に記憶されているログデータの送信間隔を変更するべく、前記送信間隔決定手段で決定された送信間隔に応じた送信間隔制御情報をそれぞれのログデータ収集装置に送信する送信間隔制御情報送信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

本願発明によれば、キーワードが含まれるログデータの数に関する値に従って、各ログデータ収集装置に記憶するログデータの送信間隔を変更することで、情報漏洩の危険性を低減することができる。